

香美市人権啓発映画上映ラリー

★kami-city human rights movie rally★

第2弾

とな

「隣る人」

「隣る人」は、様々な事情で親と一緒に暮らせない子どもたちと、隣り合う保育士たちとの日常の8年間を記録したドキュメンタリーです。

ここでは、子どもたちの、そして子どもたちと暮らす保育士たちの素の顔が、映像になって映し出されています。

保育士さんがお誕生会で子どもにかけられる言葉に「マリコさんも、むっちゃん大好きです。もう、どんなむっちゃんでも大好き」という言葉があります。自分の子育てを振り返った時、こんな素敵な言葉をかけてあげたことがあったでしょうか。

この映画は、「かわいそうな子どもたち」のドキュメンタリーではありません。映画評論家の佐藤忠男さんは、「一人ひとり、様々な事情があって、幼い者には絶対必要な近親者が身近にいないのだろうが、いま日々の暮らしを共にしている保育士たちは単なるその代理ではなく、まさに隣る人としてそこにいる。」と評されています。

題名になっている「隣る人」の持つ意味。一緒に考えてみませんか。

スタッフの声

第3弾「彼らが本気で編むときは、」(未定)

8月29日水 開場 午後6時30分
上映 午後7時

香美市立中央公民館 1階大ホール 入場無料

(香美市土佐山田町宝町2丁目1番27号 ☎0887-53-2214)

主催/香美市人権教育研究協議会 後援/香美市・香美市教育委員会・香美市企業等人権啓発連絡会

お問い合わせ先/香美市教育委員会生涯学習振興課 ☎0887-53-1082

誰もひとりでは生きられない。

隣る人

never let me go.

親と暮らせない子どもたちと、隣り合う保育士たち。そして、子どもとふたたび暮らすことを願う親。ある児童養護施設の日常を追う8年間のドキュメンタリー。

刀川和也監督作品 企画/稲塚由美子 撮影/刀川和也・小野まゆか・大澤一生 編集/辻井 暁成・大澤一生
プロデューサー/野中真弘・大澤一生 製作・配給/アジアプレス・インターナショナル Asipress 日本/2011/150/カラー/日本版/85分/ドキュメンタリー
山形国際ドキュメンタリー映画祭 ニュー・ドックス・ジャパン部門招待作品
文部科学省選定(青年向き・成人向き) / 厚生労働省社会保障審議会特別推薦
第9回文化庁映画賞・文化記録映画部門大賞 / 第37回日本カトリック映画賞

www.tonaru-hito.com